

◆20世紀を文化で飾る

染付家屋山水文壺(市陶器商家資料館)

●特集

市制施行40周年

主な内容

パブリックインフォメーション…………… P 2	お年寄りと子どものページ…………… P 16
特集 市制施行40周年…………… P 4	スポーツ…………… P 17
みんなの広場…………… P 12	くらしのチャンネル…………… P 18
文化で町づくり…………… P 14	お便り…………… P 20

新生伊万里を創造する

竹内市長が所信表明

伊万里市はこれまで伊万里湾総合開発をはじめ、農業における基盤整備や特産品づくりと工業・商業の振興、都市基盤の整備、さらに教育・文化の施設整備とともに人づくりや伊万里文化を生かしたまちづくり等の推進に各種制度を利用しながら取り組んできました。

ことに市総合計画の一貫性や継続性、時代に対応する柔軟性によって、伊万里湾総合開発や農業をはじめ文化・環境・福祉等にバランスある振興が図られ、かつての産炭地域から今や地方小都市活性化のモデルとして、地方自治政策を研究する日本計画行政学会で発表されるに至りました。しかしながら、今日の政局は混迷を深めて、地方自治体としてもその目標が立てにくいなか、幸い伊万里市は大型の継続事業を抱えるとともに、市勢の活性化を促す西九州自動車道の建設と国際陶芸祭の開催という二大プロジェクトを抱えて、その対応に全力を注がなければなりません。

西九州自動車道と国際陶芸祭

まず、西九州自動車道への対応としては、伊万里湾の国際交易基地の形成や海洋開発研究施設の集積、海洋リゾートの整備等新しい展開方向とともに、伊万里湾大橋や西九州自動車道へのアクセスとなる国道等のインフラの整備、農業では国営総合農地開発とブランド品づくり、西九州自動車道のインターに接続する新しい農業経営を目指した流通基地の整備などを進める必要があります。

さらに、平成8年の「世界・焔の博覧会」を大きなチャンスとしてとらえ、伊万里川河畔や市街地に伊万里色絵磁器人形等を設置した町並み修景や市民参加による「伊万里世界陶芸村」づくりを進めるとともに、伊万里独自のイベントである「世界の子とも陶芸祭」、「国際アマチュア陶芸展」、「世界伊万里さん会議」を開催します。

文化都市宣言のまち

市民センターや新たに建設中の図書館を「伊万里学」の普及活動の拠点として利用し、伊万里讃歌の浸透を図り「みんなが歌うリズムのまち」、世界陶芸村づくりで「みんなが絵を描くアートのまち」など市民自ら創造し誇りをもって文化都市宣言ができるようなまちづくりに努めます。

また、高齢化社会に対応したモデル長寿村をはじめ、教育施設や農村環境の整備など各分野にわたった対応を図らねばなりません。

特に、今年が市制40周年の記念すべき節目の年であり、若者の発想による記念事業を計画し、新生伊万里を創造する年としてとらえ、また、国際家族年の年でもあり、家族と家庭は地域社会を築く基礎を成すもので、安らぎと対話のあるベースキャンプとしての家庭づくりを提唱し、市民の皆様と心を一つにしてさらに努力を重ねてまいります。

平成6年第一回定例市議会

河川をきれいにする条例を制定

伊万里市議会第一回定例会が、3月2日から23日まで22日間開かれました。開会初日、竹内市長が提出した議案の概要説明と施政方針を述べました。今回の議会には、河川をきれいにする条例等の条例議案19件、一般議案7件、予算議案18件のあわせて44件が提出され、審議の結果、すべての議案が原案どおり可決されました。また継続審議となっていた決算議案も審議、可決されました。

- 6年度の当初予算は、市長選挙年で新規事業を盛り込まず骨格予算ですが、新図書館や鉱害復旧などが継続事業のため一般会計予算総額は、前年度当初に比べて5・3%増の189億3000万円になっています。
- 〈一般会計予算の主な事業〉
 - ▼図書館建設事業 20億9511万円
 - ▼山代西小学校校舎建設事業 6億2872万円
 - ▼国見台野球場改修事業 2億689万円
 - ▼弁天市営住宅建設事業 1億3851万円
 - ▼鉱害復旧事業 13億2490万円
 - ▼伊万里・有田地区衛生処理組合負担金 2億4672万円
 - ▼国営総合農地開発事業 1億3708万円
 - ▼中小企業景気対策支援事業 1億490万円

伊万里市長選挙 投票日は4月24日

市長選挙は、市民にとって最も身近な選挙の一つです。棄権しないで、必ず投票しましょう。

- 投票日時 4月24日(日) 午前7時〜午後6時
- 不在者投票日時 4月17日(日)〜23日(土) 午前8時半〜午後5時
- 開票は、午後8時から伊万里市民会館で行います。
- 問合先 市選挙管理委員会 (22)21111内線470

新図書館が起工

待ち遠しい

平成7年夏の開館

伊万里市民図書館(仮称)の起工式が2月26日、立花町の伊万里中学校グラウンド横の現地で行われました。

新図書館は、約7700平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート平屋建(二部3階、延べ床面積が3700平方メートルあり、九州では有数の広さを誇ります。

総事業費は23億9000万円です。起工式には竹内市長をはじめ、図書館づくりに取り組んでいる市民グループの代表など関係者100人が出席して、これから始まる工事の安全を祈りました。



起工式の後、出席者は現地で設計者の説明を聞きました。



「せいら」が一冊分たまっているようだから、第三集を出したらと勧める方があって、第三集を出版することにした。

今度は、「伊万里讃歌」の作者犬塚堯先生が「せいら第三集のために」の題で、長文の序詩を書いてくださった。

私が通った旧制佐賀高等学校の寮歌に託して、私が若き情念をもって新生伊万里市づくりに励んだあとが書き記されている。

また、伊万里市制三十五年の軌跡を「地方小都市振興のダイナミズムに関する実証的研究」として、日本計画行政学会の論文にまとめられた日本大学顧問の笹生仁先生も「伊万里を垣間みて」竹内さんと「三十余年」と題して、序文を寄せてくださった。

私が市長になって東京に伊万里会をつくり、そこが市政の高度の情報源になったことなどが述べられている。

図書館長の森田一雄先生は、第三集の発起人といってもよいほどで、序文をお願いした「あとかぎ」にされた。しかし、第一集から第三集までをまとめて評していただいているので、「あとかぎ」がよかったのかもしれない。

カットの挿絵は今回も市教育委員長の村岡一先生が心よく引き受けてくださったが、三月号の「せいら」に書いた、人と人の大切な出逢いの一つである。

「せいら」は助役時代の昭和三十九年九月に始まっているので、平成五年十二月まで約三十年近く続いたことになった。

今回の「せいら」の「まえおき」にも書いているが、私の立場が立場だけに「せいら」の題材や表現が制約されているが、そのままに書けないのが残念であるが、市政三十年の歴史の一面を語っているものと思う。助役から市長になるとき辞職した間が抜けているが、あとは毎月掲載され、長期療養もなく仕事が継続されたことが有り難く、また読者の皆さんに心から感謝申し上げます。

(竹内)

特集●市制施行40周年

感動した辛抱した飛躍する 伊万里市40年物語

市制施行祝賀式典で、あいさつをする橋口二郎市長職務執行者(当時)



昭和29年4月1日——天気は快晴。
2町7か村が合併——伊万里市誕生。

この日、市内には万国旗がゆらめき、祝賀飛行が空に舞い、各所では記念行事が行われ、まさに感動の一日でした。それから40年。伊万里市は幾多の苦難を辛抱で乗り越え、石炭産業都市から新建材工業都市へ、そして伊万里湾中核都市へと時代の顔を変化させながら、いま、国際文化都市IMARIへ向けて大きく飛躍しようとしています。

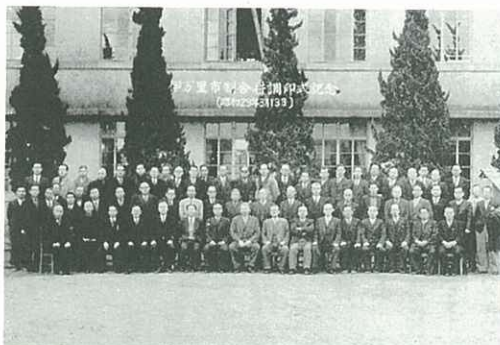
合併調印式は3月13日に伊万里小学校で行われた

明治22年に町村制がしかれ、現在の伊万里市域には伊万里町、牧島村、黒川村、波多津村、南波多村、大川村、松浦村、大坪村、大川内村、二里村、東山代村、西山代村の1町11か村がありました。

その後、昭和3年に牧島村が伊万里町へ合併し、昭和11年に西山代村が山代町になり、昭和18年には大坪村と大川内村が伊万里町へ合併するなど大同団結の動きが徐々に現れていました。

昭和28年10月に町村合併促進法が施行されると2町7か村の合併の動きは急速に早まり、昭和29年3月3日に町村合併促進協議会が発足。同12日には2町7か村の町村議会で「市町村の廃置分合について」が議決され、

翌13日には各町村長による調印が伊万里小学校(現市民センター)で行われて「町村合併に関する申請書」が鍋島直昭佐賀県知事へ提出されました。この申請書には、合併理由として「2町7か村は交通や文化、経済、風俗など密接で、特に伊万里湾総合開発計画実現には政治的財政的に強化された市の出現が必須の要件」と記されています。



伊万里小学校で合併調印式

祝賀式には訪問飛 行が空に舞った

このような経過で2町7か村が合併した伊万里市は、面積250・1平方メートル、人口8万5218人の県下第2位の市として4月1日に誕生しました。

新市名については、二、三の意見があったものの最終的に伊万里市に落ちつき、特に従来の「萬」の字を「万」に変えたのは単に簡略化したというだけでなく、合併した町村が対等の地位に立つという意味がこめられたものです。

市制施行開庁式は4月1日に行われ、祝賀式典は翌2日の午前10時から大坪小学校講堂で関係者1000人を招待して開かれました。式典には、橋口四郎市長職務執行者や武藤庄三郎市長会議長をはじめ鍋島直紹県知事、安永澤太県会議長などの来賓が出席してあいさつが述べられています。



開庁した市役所(現大坪公民館)

式典当日は、各戸には万国旗

が巡らされ、空には大阪朝日、大阪毎日、西日本、産業経済の各新聞社の祝賀訪問飛行が相次ぎ、市内各所では各地区から繰り出した祝賀行事が行われて終日祝賀ムードに包まれました。

初代市長橋口四郎、助役 山口正次、収入役大川内 善次の3氏が就任。

市議会議員は182人

昭和29年4月1日にスタートした伊万里市政は、5月16日に初代市長選挙が行われ、選挙戦の結果橋口四郎氏が市長に就任。同日の定例市議会でも助役に山口正次氏、収入役に大川内善次氏が選任され新市政の執行部体制が整いました。

また、市議会議員は町村合併促進法により旧町村の議員合計182人がそのまま1年間残任して市政初年度の議会運営に当たりました。昭和30年3月には第1回市議会議員選挙が行われ36人の議員が選出されました。

新市政の予算については、昭和29年度の一般会計と特別会計を合わせた予算総額は6億3970万7356円で、歳出内訳では教育費が最も多く1億3990万円、次いで市役所費8360万円の順となっています。

即時解散か継続かで 議会がもめました



合併時の市議会議員
〔二里町八谷〕
河原次さん(85)

私が二里村議会の議員2年目のときに昭和29年の町村合併を迎えました。村議会でも合併を決めてから住民には報告したように思います。

当時は、炭鉱をはじめ農業も漁業も振るわず、村民の意

識も変化している時期でしたので、伊万里湾開発を旗印に掲げた町村合併には村民の反対もなかったようです。

合併後の市議会は、大坪小学校の講堂で旧町村時代の議員182人が集まって開かれました。

当時、議会で議論されたことの一つは、新市ができたのだから議会を即時解散し選挙を行うべきという意見と1年間は現状の議員で議会を運営すべきという意見が二つに分かれたことです。当初は即時解散という意見が一次的に可決されましたが、反対意見も強く、最終的に無記

名投票で旧町村の議員は1年間残ることが決まりました。また、合併前の各町村で議員給料は違っていましたので、給料をどの線にするかも問題になり、これは当時の橋口市長と武藤議長の間で協議がなされ中間線で落ち着きました。

このようなことが合併時の思い出としてありますが、いま感心することは合併目的であった伊万里湾開発がこの40年のうちによく現実のものになったということです。議員OBとしてこれからの伊万里市の発展を願ってやみません。

当時「二・五・平」とい うことばがはまりました



合併時の市職員
〔松浦町下分〕
大崎正さん(76)

た助役と収入役は職員として身分が引き継がれたためです。合併前後は、私たちは連日連夜、引継事務と新市への移行事務に追われました。特に、合併直前は各町村役場の庶務係は市内の一箇所に集まり合併事務を進めていました。

このような事務を経て、昭和29年に伊万里市が誕生しました。当時、「二・五・平」ということばがはまりました。これは2町7か村が合併して面積が250平方メートルもある大伊万里市ができたということを、当時の橋口市長がよくあいさつの中で使

われていたからです。

合併当初は市役所職員のなかにもこれまでの町村役場とはまったく違った仕事に就かなければならないと悩んでいた人も多くいたようです。また、根強かった市民の町村意識は昭和30年3月の市議会議員選挙を契機に徐々に薄れていったように思います。

今の伊万里市の繁栄を見るとき、合併前に西松浦地方事務所長が合併の説得で各町村を回られた折りに「寄らば大樹の蔭」と話されたことを懐かしく思い出します。

昭和40年代



◆伊万里港開港(42.6)

昭和38年から政府に働きかけをしていた伊万里港が開港し、自衛隊音楽隊の市中パレードや古伊万里展、記念式典などで開港を祝いました。



◆7.9水害(42.7)

7月9日西日本を襲った集中豪雨は、12時から14時までの2時間に144mmの雨量を記録し、死者12人、重軽傷者435人、住家全半壊182戸というみぞうの被害をもたらしました。



◆名村造船所進出協定調印式(47.3)

漁業補償や用地問題などが解決した後、(株)名村造船所の黒川町金剛島地先への進出が決まり、その調印式が市民会館で行われました。



◆新市庁舎立花台地に完成(48.8)

総工費7億5000万円をかけて昭和47年4月に起工した新市庁舎が完成し、関係者800人が出席して玄関ロビーで落成式が行われました。

昭和30年代



◆人形石山地すべり(32.7)

山代町西大久保の人形石山で大規模な地すべりが発生。死者7名、家屋埋没21戸の被害があり、自衛隊員など3796人が出動しました。



◆伊万里市に消防署設置(34.9)

昭和29年5月に消防庁舎が蓮池町に完成し、34年9月には伊万里市消防署が設置され、常備消防部もあわせて設置されました。



◆昭和天皇皇后両陛下が大坪小御巡幸(36.4)

昭和天皇皇后両陛下が奉迎者5万人が迎えるなか大坪小を視察されました。特殊学級教室や音楽教室、版画教室などを見学され、担当教師に励ましとねぎらいのことばをかけられました。



◆国見台陸上競技場完成、第16回県民体育大会開催(38.9)

県内初の公認競技場として国見台陸上競技場が完成し、9月20日から3日間は、同競技場で県体が開かれ1万人の選手が参加しました。

昭和29年



◆伊万里市役所開庁(29.4)

市役所が4月1日開庁し、翌2日大坪小学校で祝賀式典が行われました。庁舎前や市内各所で祝賀行事が行われました。



◆市章決定(29.5)

公募していた市章には1317件の応募があり、小城郡東多久の秋次柳風さんの図案が採用され、現在の市章が生まれました。(賞金5000円)



◆臨時市議会(29.6)

旧町村の議員182人による臨時市議会が開かれました。橋口市長の市政方針や市政初年度の予算審議が行われました。



◆初代ミス伊万里決定(29.8)

山代町楠久の田尻郁子さん(銀行員、18歳)が、初代ミス伊万里に選ばれました。

平成



◆どっちゃん祭が初お目見え(2.8)
女性が主役の「どっちゃん祭り」が夏祭りとして初お目見え。水上パレードや焼き物積み出し競争、総踊りなどが繰り広げられ、6万人の人出でにぎわいました。



◆イマリンビーチがオープン(3.7)
黒川町福田海岸に延長550mの人工海水浴場がオープンし、初日は5000人の人出でにぎわいました。愛称は公募の結果、「イマリンビーチ」に決まりました。



◆フタバ産業株進出協定調印式(3.7)
自動車用マフラーの最大手フタバ産業株の進出が決まり、その調印式が県庁で行われました。本格操業は大川町川原の大川工業団地で平成4年12月から始まりました。



◆市民センターが完成(4.10)
福祉・保健・教育文化の中核施設となる市民センターが完成し、落成式には東京ディズニーランドからもお祝いに駆けつけました。

昭和60年代



◆日本丸寄港(60.10)
「太平洋の白鳥」日本丸が伊万里港に寄港し、5日間の滞在で県内外から10万人が体験乗船や見学に訪れました。



◆テレトピア構築協定調印(61.2)
調印式が休暇センターで行われ、全国で初めて「テレメーターによる地域VAN」への第一歩を踏み出しました。



◆伊万里津大橋開通(61.11)
往時の焼き物積出港をシンボル化した伊万里津大橋が完成し、踊り場に置かれた900万円の大壺が注目を浴びました。



◆公共下水道供用開始(63.3)
中心市街地115%の下水道の管きよと浄化センターが完成し、同センターで供用開始の通水式が行われました。

昭和50年代



◆皇太子・皇太子妃殿下お立寄り(51.9)
若楠国体の折りに皇太子殿下と美智子妃殿下が伊万里市にお立ち寄りになり、市役所や大川内山、向陽園などを訪問されました。



◆市民病院改築完成(54.5)
総工費8億1190万をかけて市民病院が全面改築され、医療機器もコンピューター化されるなど診療体制が充実されました。



◆佐賀厚生年金休暇センター落成(58.10)
118人の宿泊施設とスポーツ施設を備えた休暇センターが54億円をかけて完成し、滞在型観光の核として注目を集めました。



◆大川内山鍋島藩窯公園開園(59.4)
全国でも類のない焼き物の歴史公園として鍋島藩窯公園が3億7000万円をかけて完成し、大川内山の新たな名所になりました。

市制40周年を契機に いっそうの飛躍を



伊万里市長
竹内 通 教

市長あいさつ

今年、伊万里市が誕生して40周年目の記念すべき年です。昭和29年に伊万里湾臨海工業都市の建設という方針のもとスタートした伊万里市が、今日、伊万里湾域の中核都市となり、さらに国際文化都市としての地歩を着実に歩み始めていることは、6万市民の努力のたまもので、いっそうの飛躍をめざし、西九州自動車道と連動した伊万里港の国際交易基地化、学術ゾーン及びレクリエーションゾーンの整備を進め、また農業・商工業の一代流通基地の形成を図り、産業の活性化に努めます。

また、伊万里学を盛んにして市民参加による町づくりを目指し、図書館や世界陶芸村づくり、そして、世界・森の博覧会には「世界の子ども陶芸祭」など独自イベントの開催を目指すとともに、記念すべき今年が「今世紀を文化で有終の美を飾る」契機となるよう、40周年記念事業は若者の参加で行います。

時代に対応した活力 ある地域社会の実現を

市制40周年を迎えるに当たり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

市制施行後、多くの難問を抱えながらも、諸先輩の方々のご努力によって「豊かで住みよい都市」を目指し、今日の伊万里市を築かれたその偉業に対し衷心より敬意を表します。

21世紀が目前に迫っている今、国際化や情報化、高齢化などが急速に進展しており、その対応が求められています。

伊万里市の今後の発展を期するためには、この40周年を契機として、多様化する市民の皆様への行政需要を的確に把握し、新しい時代の要請に応え、活力ある地域社会の実現を図らなければなりません。

伊万里市議会としても、「豊かで活力と楽しさある伊万里市」を目指し、市民の皆様と一致協力して町づくりに取り組んでいくことを申し上げましてお祝いのことばといたします。

議長あいさつ



伊万里市議会議長
江頭 橋 次

なんだが伊万里にはキラキラ輝く 未来があるようだ。

福岡と伊万里間を45分で結ぶ西九州自動車道。伊万里湾をまたぐ夢の大橋・伊万里湾大橋。伊万里港工業集積・水産加工と穀物食品の両コンビナート。九州西北部のマリンレジャー拠点・海洋性レクリエーション基地。そして、伊万里文化を大成する伊万里世界陶芸村…。

市制施行40周年を迎えた伊万里市は、今、このような多くの大規模プロジェクトを進めるなか、着実な足取りで確かな未来へと歩き始めています。

これらのプロジェクトは近い将来実現し、市民に豊かで楽しい生活と後世にさらに大きな発展への夢を与えてくれます。

国際化や高度情報化、技術革新、高齢化、価値観の多様化など市民を取り巻く社会環境はさらに複雑化しています。伊万里市はこれまでの経験で培った英知でさらなる施策を生み出し、市民が誇れるキラキラと輝く未来都市へと突き進みます。

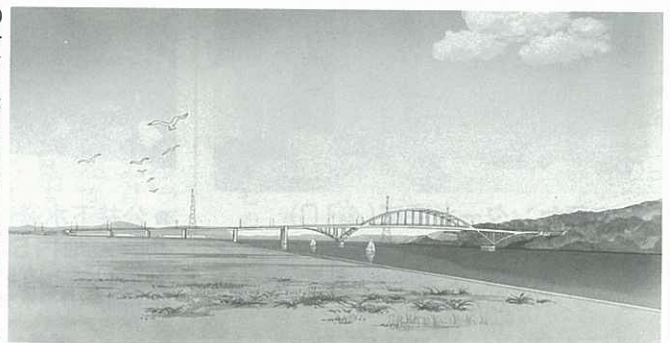
市民一丸となつて 50年へ、100年へ

『ローマは一日にして成らず』スペインを代表する作家セルバンテスが「ドン・キホーテ」のなかで使ったことばです。「偉大なローマ帝国は、長期間の努力と歴史の結果できあがった」ということですが、まさに伊万里市にもこのことがいえます。

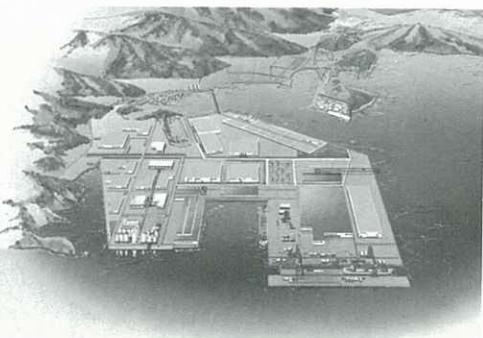
昭和30年代の石炭産業の衰退、40年代後半の構造不況による合板、造船業の不振など幾多の苦難を乗り越えて伊万里市は今日の繁栄を築き上げてきました。

その原動力は、まさに市民の市勢発展を願う熱意でした。

現在の伊万里市に生きる私たちは、市民一丸となつてふるさと・伊万里をさらに前進させ、市制50年、市制100年の後世へ引き継がなければなりません。



伊万里湾大橋完成予想図。平成9年度暫定2車線開通を目指して事業を進めています。



伊万里港完成予想図。伊万里団地では水産加工コンビナートの形成を進めています。



井手知夏子さん(S29.4.10生)
(大坪町上古賀, 主婦)

「古さ」を残すことも大切に

特に40歳という年齢を感じたことはありませんが、お寺の奥さんとして住職の予定組みなどで毎日忙しく過ごしています。伊万里市については、道路や環境がきれいになったと実感し

ています。ただ、シーズンになると運動会などの行事が目白押しで、参加する人もノルマ的になって本当に楽しんでるのかなと疑問に感じています。まちづくりという点では、お寺という性格上、私が会う人はお年寄りが多いので、お年寄りの立場に立つて話が聞けるようになりたいと常々思っています。市への期待としては、図書館ができるのを楽しみにしていますので、講座などを多く開いてほしいと思います。また、大川内山が舗装され美しくなりましたが、反面、「古さ」を残すことも大切にしてほしいですね。



金子一馬さん(S29.6.23生)
(立花台4丁目, 社保労務士)

歩きたいまち、座りたいまちに

成人式を2回迎えた感じでした。私は昭和56年に厳木町から伊万里市へ移り、労政事務所を開きました。40歳になり、これからは社会的な責任も大きくなるので勉強、仕事をさらに充実し

なければと思っています。伊万里で生活してきて、歴史や観光、自然環境はすばらしいと思います。福岡へ行く際の交通が便利になればと思います。また、伊万里駅前や商店街が少し寂しいのではないのでしょうか。まちづくりでは、現在、青年会議所の副理事長で、空き缶拾いで国際貢献をする「ネパールへ学校を贈ろう」運動や市民ネットワークとしてのビーチバレー大会を今年は予定しています。伊万里市への期待は、大きな体育館があればと思いますし、町全体が「歩きたいまち、座りたいまち」になればと思います。

Q 1. あなたは昭和29年生まれの40歳ですが、40歳という年齢をどう思いますか？

Q 2. 伊万里市も40歳になりましたが、あなたにとって伊万里市は住みやすいまちですか？

Q 3. あなたが今後伊万里市や地域のまちづくりに関わるとすればどんなことをしてみたいですか？

Q 4. これからの伊万里市にあなたは何を期待していますか？



川棚正則さん(S29.10.12生)
(二里町大里, 市職員)

世界の中で伊万里にしかないものを

40歳といえば、人生80年時代の中間地点であり、中堅どころとして地域や職場を支える大切な年代代だと思います。私は昭和54年に父の転勤で伊万里へ来ましたが、当時と比べ

西部バイパスや住宅、市民センターなどもでき見違えるような町になったと思います。ただ、子どもが小学生や園児の場合に家族で遊べる場が少ないことは父親として実感しています。まちづくりについては、私の仕事そのものですので先頭に立たなければと思っていますが、地域的には有田川美化運動などにも参加してみたいですね。今後は、市職員として世界の中で伊万里でしかできないまちづくりをしてみたいと思いますし、また、20代の若々かもんがふるさとに関心を示す施策を進めてみたいと思っています。



木須旬子さん(S29.3.9生)
(木須町木須東, 農業)

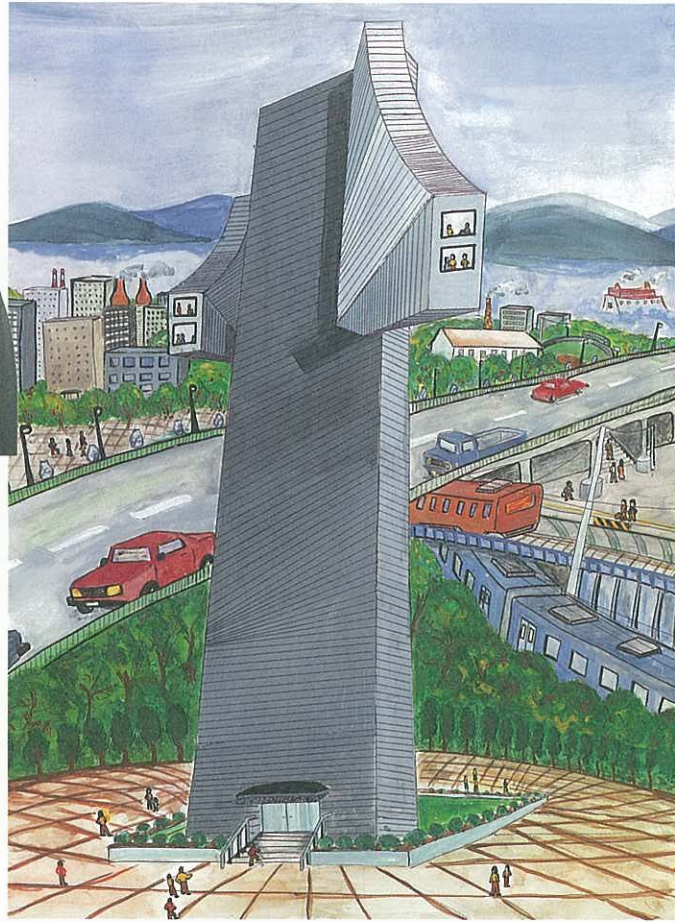
大家族のよさを伝えていきたい

施設キュウリとコマの専業農家です。長女も15歳になり、私ももう40歳かと驚いています。これまででは自分の家庭のことで精一杯でしたが、これからは社会にも目を向けて行動しなけ

ればと思っています。伊万里市は住みやすい町と思いますが、子どもにとってはどうでしょう？友達と外で遊んでいる子どもの姿がだんだん少なくなってきたように思います。まちづくりについては、私は婦人会活動などで若いお嫁さんに大家族のよさを伝えていきたいと思っています。それは、祖父母がいる家庭は子どもの健全な成長に役立つと思いますし、また最近の老人介護の問題なども解決できると思うからです。これからの伊万里市には、大きな公園と焼き物の美術館などができたらいいと思います。

高校生が描く未来の伊万里

市制40周年を記念して、市内4高校の生徒に「未来の伊万里」というテーマで、絵を描いていただきました。作品とその内容をご紹介します。

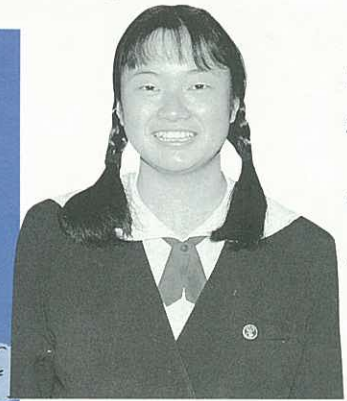


伊万里農林
高等学校1年
川尻健一くん

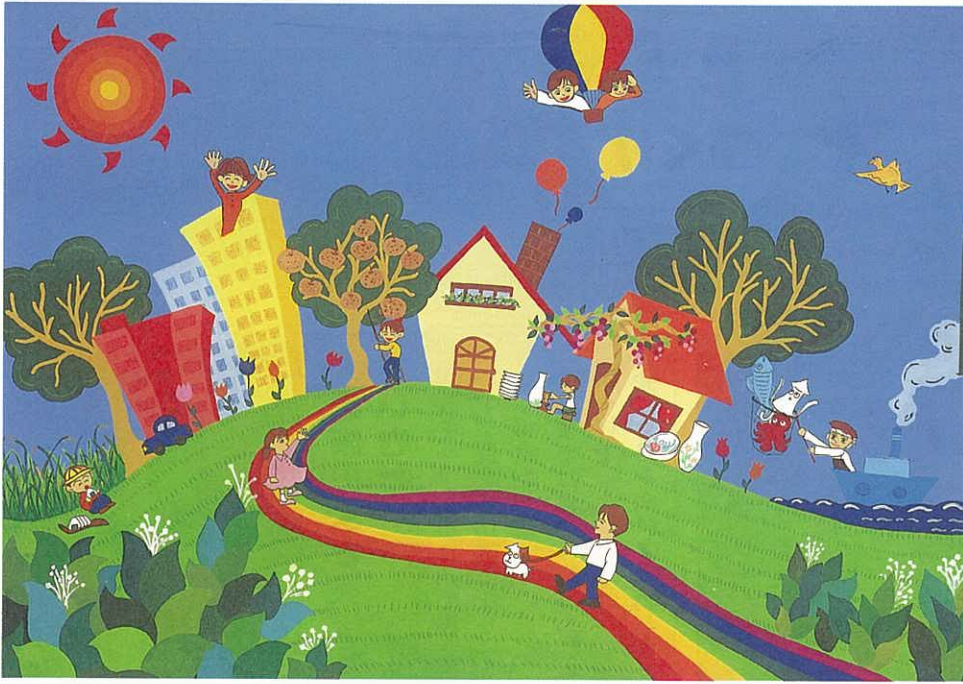
みんなをハッとさせるようなものとして、伊万里の海や山、市街地を一望できる焼き物風の伊万里タワーを描きました。また、高速道路と高速電車は自然を生かして都市化する未来の伊万里の姿を表し、海岸沿いの煙突は昔のように船を使って焼き物を積み出す焼き物工場が港に並ぶ様子を表現しました。

伊万里商業高等学校2年

石橋 香さん



環境がさらに良くなるようにと緑を多く使い、特産品も未来に伝えようと焼き物とくだもの描きました。虹の道はすばらしい未来の伊万里へ続く架け橋で、希望の道を意味しています。私が描いた明るい伊万里に将来会いたいと思います。



寄

稿

市民一人一人の声が明日の伊万里を築く

佐賀新聞伊万里支局長

平 有治

佐賀市から伊万里に移り住んで4年。色々な人と知り合い様々な経験をさせてもらった「第二のふるさと」の生活も最後を迎えた。4年という短い期間だったが、仕事の性格上ひよっとすると、伊万里に長く住んでいる人よりも多くの場所を訪ね、伊万里が抱える様々な問題に出会ったのではなからうか。

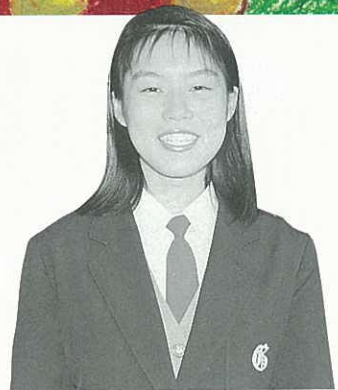
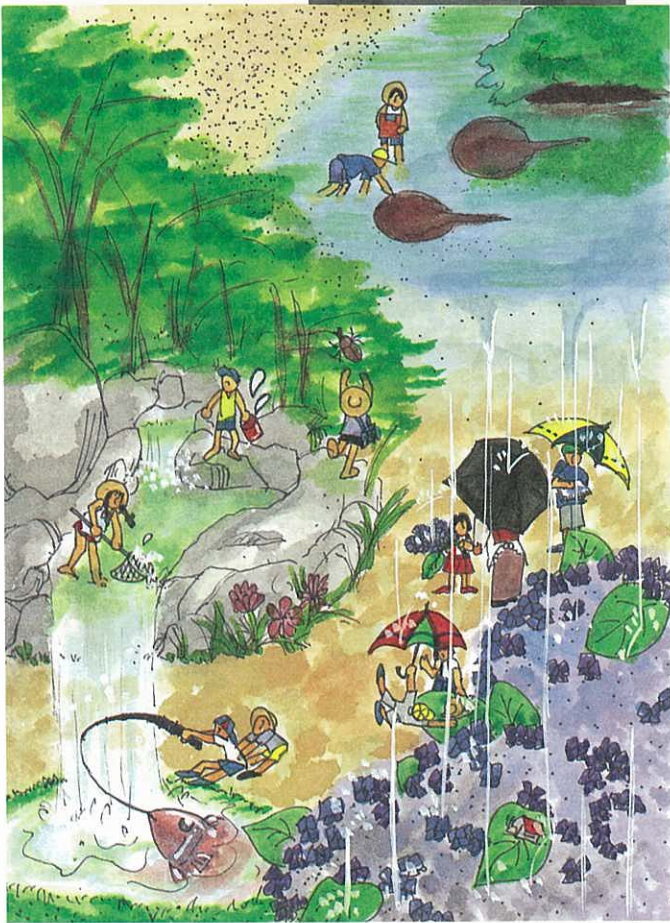
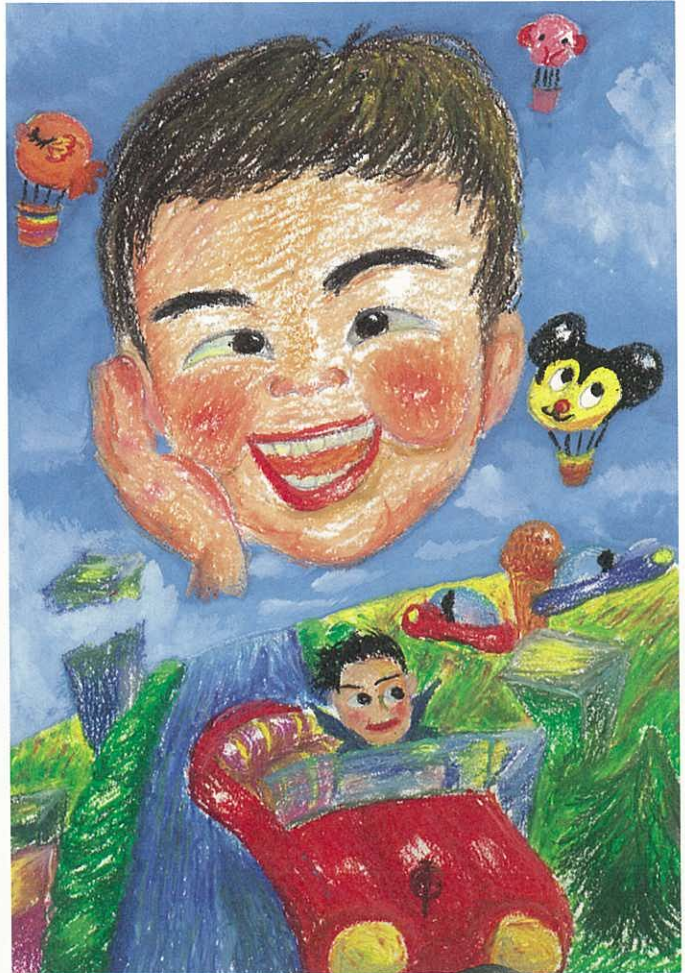
佐賀にいる時「伊万里は観光施設に恵まれうらやましい」などと漠然と思っていた。が、実際に伊万里で生活してみると、文化面、施設面で県都に劣っていることを痛感した。今、伊万里は文化を中心に市政を展開しようとしている。その際、問題になるのは文化の中身。どんなに頑張ってみても、都会の豊富で多様な文化に勝る文化の量を構築することは難しい。

伊万里出身の人から「伊万里は昔のままの姿で」の言葉を聞く。そこには、青い空が広がる故郷の原風景がある。郷愁はこ

伊万里高等学校2年
中村 雅子さん



私がこの絵で表現したかったのは、自然豊かな「ふるさと」です。これからきっと大変身するであろう伊万里市も、自然とのバランスだけは保ってほしいと思います。「未来も、動物や植物に囲まれてみんなが安心して生活できるような『伊万里』でありますように」……こんな気持ちで描いた絵です。



伊万里学園高等学校3年
岸川 麗さん

現在と未来では、町の様子が大きく違っていると思います。でも、子どもの素直な笑顔は変わらないと思います。私は伊万里が子どもの笑顔を生かせるような町になってほしいと思います。子どもの笑顔を包み守ってやれるような環境、広く豊かな社会、温かい家庭、そんな精神的向上がある未来の伊万里を期待しています。

これまで利便性を追求する住む側の論理の陰に隠れてきた。しかし「自然環境」「ゆとり」がキーワードとなっていて、今、伊万里から離れて住む人の言葉に素直に耳を傾けてほしい。それは、住む側の論理を軽視することではない。そこには「帰りたい」「暮らしやすい」が前提条件となっている。

これからの地方都市は特性や体力（財政状況）に応じ、いかにその地方らしさを出すかが大切だ。大胆に言わせてもらえば、伊万里の場合、働く場所がないという理由だけでむやみに企業誘致を図る必要はないし、中途半端な観光都市を目指す必要もない。「金をかければ夢を語れない」ではなく「金をかけず伊万里らしい夢を、文化を語る」。そうした姿勢が必要だ。市民一人一人が市政への夢を率直に、積極的に語ってほしい。その積み重ねが明日の伊万里を築いていくと思う。



みんなの広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡ください(☎2111・内線207)。



④アドベンチャーラリーに800人が参加(3月6日)

県青少年団体連絡協議会などが主催する第4回アドベンチャーラリーが開かれました。県内を中心に家族連れや友達どうしで800人が参加して、家族向けの伊万里市街地コースと一般向けの大川内山周辺コースで、地図を片手にウオーラリーを楽しみました。一般の部の優勝チームに10万円の賞金が出るなど豪華賞品がもらえるため、参加チームは、ポイントにある問題に熱心に挑戦していました。

⑤ようこそ伊万里へ!アルゼンチンから留学生(3月5日)

交換留学生としてアルゼンチンから来日したロレーナ(18歳)さんが竹内市長を表敬訪問しました。伊万里の印象は「静かできれいなところ」で、ホームステイ先は立花町の梶山紀生さんの家です。4月からは伊万里学園高校へ通い勉強します。



④JR伊万里駅で列車増発記念式(3月1日)

筑肥線(唐津~伊万里間)のダイヤ改正と列車増発記念式典がJR伊万里駅で開かれ、みなみ保育園児の器楽演奏やくす玉割りで出発式を祝いました。駅前広場ではもちつき大会や青空市場も行われ、たくさんの買い物客などでにぎわいました。

④大川町に「ふれあい公園」が完成(2月28日)

大川町大川野に「大川ふれあい公園」が完成し、式典には地元の人たちや近くの保育園児たちが出席して完成を祝いました。3600平方メートルの公園にはジャンボジェット機のすべり台などの遊具や防球ネットが置かれ、市では利用を呼びかけています。



④市障害者(児)文化祭(2月25日~3月1日)

伊万里玉屋での趣味の作品展には焼き物など力作1500点が展示され、市民センターでの記念式典には、全盲ながら有機農業に取り組む井手信夫さんの講演などがありました。

わが家のアルバム



濱田 一美ちゃん (31歳)

★一彦・由紀美さんの長女
★黒川町名村団地

天気がいい日は、団地内の公園で砂遊びやすべり台で遊んでるの。梅干しが大好きで今日のお昼にも2個もたべちゃった。いまは電話をかけるのがおもしろくて、お母さんと一緒に愛媛のおばあちゃんとお話するんだよ。

おかあさんからひとこと



素直で、元気な子に育ってほしいと思います。やさしく、思いやりのある大和なでしこになってちょうだいね。

ほほえ美さん



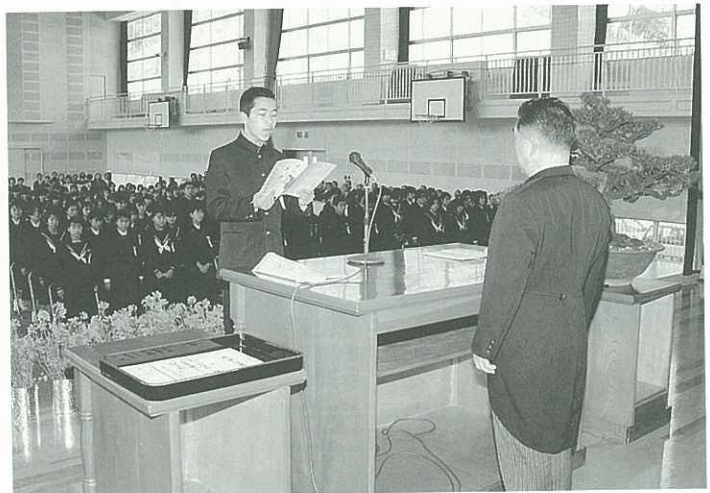
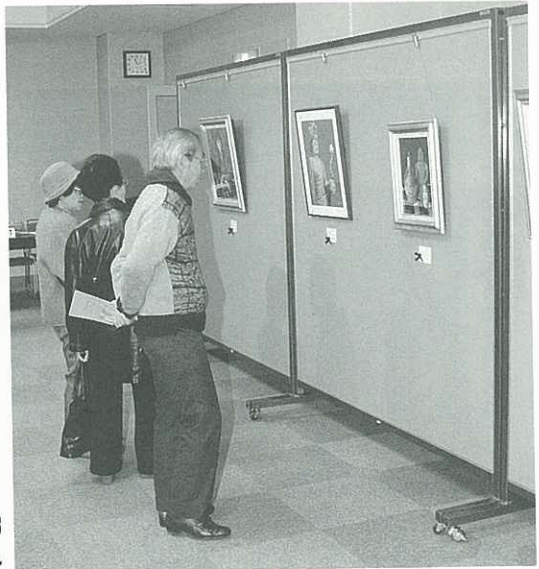
辻

弘子さん (20歳)

★大川町立川(乙女座・A型)

名村情報システムでプログラマーとして働いている弘子さんは、伊万里商高情報処理科の第1期の卒業生。高校で学んだことが実践できる今の仕事は非常にやりがいがあると張り切っています。実家は梨とみかんの栽培と肥育牛を100頭飼っている専業農家です。週末も大好きなカラオケを我慢して、家の仕事を率先して手伝い、結婚しても家の手伝いを続けたいという親孝行なお嬢さんです。

◎力作66点を展示、伊万里美術協会展(3月11日~13日)
伊万里美術協会(村岡一会長、40人)の第15回作品展が開かれました。副会長だった故多久島徳造さんの遺作を含め会員の力作66点が展示され、訪れた人の目を楽しませていました。



◎東陵中学校で記念の第1回卒業式(3月15日)

昨年4月に開校した東陵中学校(田中秀彦校長、296人)で、第1回目の卒業式が行われました。卒業生94人を代表して松本淳君が答辞を読み上げ、在校生に「人権討論会や生徒会活動などで東陵中の新しい伝統を育ててください」と励ましました。



◎ジュリアさんが幼稚園児と火災予防をPR(3月1日)

春の火災予防運動が3月1日から7日まで行われました。今年は、外国語指導助手ジュリアさんが「1日消防長」に任命され、商工会館前では、防火協会役員や女性消防団員、カトリック幼年消防クラブの皆さんと一緒に街頭広報に参加して火災予防をPRしました。

伊万里塾推進研究大会

平成6年度は伊万里塾を全域で開設

伊万里塾推進研究大会が2月27日、市民センターで開かれ、5年度に開設した市内4地区の伊万里塾の事例発表と佐賀大学の上野景三助教授の講演会がありました。

市では、生涯学習の核として伊万里の歴史や文化、人物などの学習を通してふるさとを学び、語り、そして新しい伊万里を創る「伊万里学」を進めています。この伊万里学を市民サイドで実践するために昨年度、市内の4地区でモデル的に伊万里塾を開きました。今年度は市内全地区で伊万里塾を開設して市民全

体の学習活動に発展させることにしています。

このため、モデルになった4地区の学習の成果や問題点を発表して、これから開設する地区の参考にと研究大会が開かれたものです。

事例発表では、初めに4地区の代表者が塾の概要、学習内容などを発表し、そのあと会場に集まった2000人の参加者とパネルディスカッション方式で問題を討議しました。

最後は、上野助教授の講演があり、「町づくりには、生涯学習を基本に据えた人づくりが大切

市内4地区でモデル的に開設した「伊万里塾」の事例発表。



です。伊万里学も学びっぱなしにしないで、学んだことを自分のために、次に家族のために、そして地域のために生かしてほしい」と郷土学の重要性を強調されました。

とりもどそう美しい豊かな海を

クリーン伊万里市民協議会を設立

「クリーン伊万里市民協議会」の設立総会が、2月26日、市民センターで開かれました。

総会には、カプトガニを守る会など11団体・450人が参加。各団体の活動報告が行われたあと、日本カプトガニを守る会副会長の吉永源三郎さんの記念講

演や伊万里高校生物部の生態研究発表などがありました。

最後は、『海は伊万里の宝物。とりもどし残そうカプトガニの生きる美しい豊かな海を』をスローガンとして採択し、今後は協議会として環境浄化運動を進めることを確認しました。



環境浄化を訴える加盟団体の代表者のみなさん。

郷土の文化財

郷土の天然記念物シリーズ①

明星桜

く松浦党の伝説を秘めた名木

明星桜は、東山代町の浦川内地区にあります。開花は、一般的なソメイヨシノにくらべて4日から1週間程早く、3月末から4月の初めが見ごろです。

淡い薄紅色の5弁の花と複雑に入り込んだ枝のコントラストが美しく、樹高13メートルに達するその樹形の雄大さにもかわらず、気品と優雅さを感じさせる県内屈指の名木です。

ことに樹下で火をたきながらながめる夜桜は、花弁のひとひらずつが火に照り映えて、明星のおもむきがあるといわれ、その名の由来となりました。

地元の伝承では、今からおよそ800年以上も昔に、松浦党の党祖源直公の家臣で、京都出身の浦内淡路守が望



伊万里少年少女合唱団発表会

ディズニーのミュージカルを歌う

伊万里少年少女合唱団(吉富常彦団長、53人)の発表会が2月26日、市民センターで開かれ、ディズニー映画の主題歌などを中心にすばらしい歌声を披露しました。

ステージは、山口哲雄さんの指揮で団歌「鼻と蝶の歌」で始まり、賛助出演の伊万里合唱団が「犬のおまわりさん」などかわい曲を披露して発表会を盛り上げました。

また、白雪姫やピノキオなどのディズニー映画から飛び出してきたようなふん装をした団員たちが寸劇を演じながら劇中歌を合唱しました。

最終ステージでは、おなじみの「ミッキーマウスマーチ」や

「チム・チム・チェリー」など9曲が披露されました。

会場には団員の友達や保護者などが詰めかけ、かわいいハーモニイによりしれていました。



第16回中央公民館文化祭

多彩な発表に400人が文化を満喫

中央公民館文化祭が3月20日、市民会館と中央公民館で開かれ、各団体のサークル発表や作品展示などが行われました。

この文化祭は、中央公民館文化サークル協議会(前田雪男会長、31団体)が日ごろの実践活動の発表の場として、また文化の香り豊かな地域づくりを進めるため毎年開いているもので、今年で16回目になります。

市民会館大ホールでは、伊万里合唱団の合唱や大正琴の会の演奏、子ども劇場の人形劇、社交ダンスサークルによるダンスなどが披露され、ロビーでは、たんぼの会の洋裁やひこばえの会の手芸、フランス刺しゅうの手芸などが展示されました。

昼食時には料理サークルによるうどんなどのバザーが行われたほか、市消防本部による消防自動車の展示も行われ、訪れた400人の観客は盛りだくさんの催しを楽しみました。



市民センター開設1周年記念事業の最終を飾る舞踊集団東京

「菊の会」の伊万里公演が、3

月6日市民会館で開かれ、観客1000人はステ

ジで繰り広げられる華やかな「日本のおどり」を楽しみました。

東京「菊の会」(畑道代表)

は、昭和47年に結成され、全国各地をはじめヨーロッパやアメリカなどでも定期的に公演活動

を続けている日本を代表する舞踊集団です。

伊万里公演では、長唄「賀の

祝」や常磐津「釣女」などの古

舞踊集団 東京「菊の会」公演

「日本のおどり」を華やかに

典型的な舞踊が演じられたあと、

津軽じょんがら節など数々の民

俗舞踊が披露され、フィナーレ

は出演者全員による阿波おどり

が舞台せましと演じられました。

公演時間2時間半が短く思わ

れるようすばらしい内容に、こ

んな超一級の舞踊を伊万里で見

ることができるとい

う感動の音が観客の中か

ら聞かれました。

市民センターは、

平成4年10月にオープンして、

公演や会議、福祉保健活動に利

用され、今年1月までで延べ15

万5500人が利用しています。

⑤フィナーレの阿波おどりは

リズム感あふれる舞踊が舞台せましと披露されました。



お年寄りと 子ども ページ

幸松トヨさんに百寿記念メダル

総勢40人が百歳を盛大にお祝い

東山代町川内野の幸松トヨさんが2月25日に百歳の誕生日を迎えられたため、誕生日のこの日、竹内市長はトヨさんを訪問して百寿記念ダルを贈り長寿を祝いました。

トヨさんは、明治27年生まれで、次男の正圓さん夫婦、孫の勇志さん夫婦、ひ孫4人に囲まれて幸せな毎日を送られています。

耳がちよっと遠く、目もやや不自由ですが、身の回りのことはほとんど自分で済ませるほど元気です。記憶力が抜群で、時々年金の受け取りを頼まれる正圓さんも金額のごまかしができないと笑って話されています。



この日は名古屋や大阪に住む娘さんなど6人の子どももお祝いに駆けつけ、親類の人も合わせる総勢40人の賑やかな誕生日となりました。



お祝いに駆けつけた竹内市長からメダルを受け取る幸松トヨさん。



黒川幼稚園児が敬愛園訪問

おゆうぎとペンダントにお年寄りは大喜び

黒川幼稚園（筒井志園長、63人）の年長児33人が、3月9日、近くの特別養護老人ホーム「敬愛園」を訪問しました。

園児たちは、この日のために練習してきた3曲のおゆうぎを元気に演じ、手作りのペンダントを50人のお年寄りにプレゼント

大坪で子どもの意見発表会と音楽発表会
じょうずな発表に会場から盛んな拍手

春の青少年健全育成強調月間期間中の3月8日、立花小学校で大坪地区子ども意見発表会と音楽発表会が開かれました。意見発表には、大坪小と立花小の児童が学校生活や環境問題などをテーマに発表しました。音楽発表では、大坪保育園や

立花小コーラス部、伊中ブラスバンド部が発表し、ピアノスト徳田千佳子さんも特別に出演しました。大坪地区青少年育成町民会議が情操教育の一つとして開いたもので、発表者には保護者や子どもたちから盛んな拍手が送られました。

トしました。じょうずなおゆうぎやかわい贈り物にお年寄りは大喜びの様子で、園児が帰る際には、玄関に園児を見送りにきて別れを惜しむ人もいました。園児たちはこのあとイマリンビーチへ遠足に出かけ、楽しい一日を過ごしました。



四季の詩

菜の花や一天高く薩摩富士

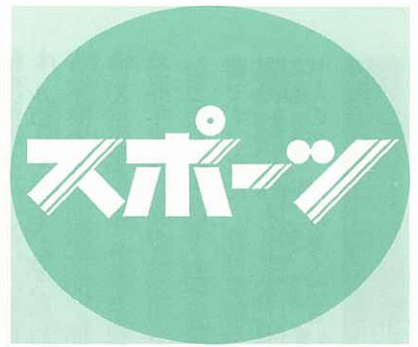
立花台二丁目 林 雨 滴

触れなば散らむ風情に満を持す

桜樹立つなり夕陽の丘に

大川町戸石川 下 平 文 子





4月の町民スポーツ

- 3日(日)
 - 東山代町子ども会グラウンドゴルフ
8時半 東山代運動広場
- 29日(金)
 - みどり歴史のクロスカントリー駅伝
10時 東山代公民館前スタート
- 5月1日(日)
 - 黒川町民体育祭
8時20分 黒川小学校



第18回さわやかスポレク伊万里 サッカーPK戦などでさわやかな汗

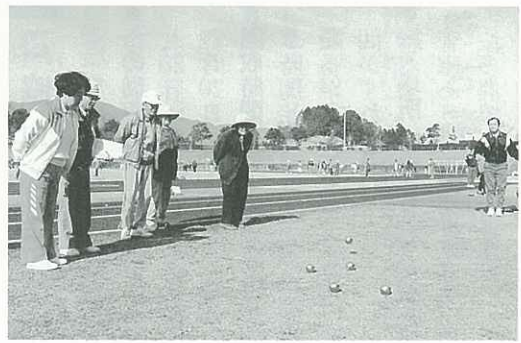
市民レクリエーション祭が3月6日、国見台運動公園で開かれました。市民に手軽なスポーツを楽しんでもらおうと毎年開いているもので、今年で18回目を迎えました。

熱気球の係留飛行まで行われたため小学生からお年寄りまで約400人が参加してさわやかな汗を流しました。



➡グラウンドゴルフではいいなスイングでナイスショット。

➡ペタンクコーナーでは慎重にねらいを定めて投球しました。



ナーは特に人気があり、応援にきた保護者や子どもの歓声が絶えませんでした。各種目の優勝者は、次のとおりです。(敬称略)

- ◎グラウンドゴルフ
小学生の部 本山裕麻(二里小)
中学生の部 青木 崇(波多津中)
- 一般の部 (50歳未満)
福田 利郎(山代町)
- 一般の部 (50歳以上)
川棚 君子(二里町)
- 一般の部 (70歳以上)
斉藤清四郎(大坪町)
- ◎ペタンク
環境衛生クラブ(立花町)
- ◎サッカーPK戦
小学生の部
東山代少年野球チーム
中学生の部
啓成中Aチーム

第5回伊万里町子ども会グラウンドゴルフ大会 力強いスイングでホールインワン

伊万里町子ども会グラウンドゴルフ大会が、3月6日、伊万里小学校で26チームが参加して行われました。

小学生や中学生が仲のよい友達どうしでチームを編成し、運動場に作られた8ホールのコースを少しでも良いスコアで上がろうと、みんなで力を合わせて真剣にプレーしました。

ホールインワンが9回も出るなど熱戦の結果、木須東コンバットチームが優勝しました。



第9回各町対抗卓球大会

伊万里町が2年連続の優勝

8町の選手が出場する各町対抗卓球大会が3月13日、南波多ミニスポーツ会館で行われ、伊万里町が2年連続2回目の優勝を飾りました。大会は、4チームずつの2パートに分かれて予選リーグが行われ、予選1位どうしが優勝戦で、2位どうしが3位決定戦で地域の期待を担って熱戦を繰り広げました。

成績は、次のとおりです。

- 優勝 伊万里町
- 準優勝 大川内町
- 第3位 二里町



お知らせ

受け付けます 小規模土地改良事業

農業基盤整備を図るための小規模土地改良事業を共同で施行される人は、5月末日までに認可申請書を現況写真添付のうえ区長名で提出してください。

対象事業は、次のとおりです。

- 農道（幅員2.5メートル以上、ため池、水路、頭首工、橋梁の新設・改良、農道舗装（幅員2メートル以上）などの事業
- 事業の受益農地が1ヘクタール以上で受益戸数5戸以上
- 事業費の補助率は50/100以内で、上限額は100万円です。

※昨年申請しながら認可されなかった分についても再申請が必要です。また、許可申請が受付期限を過ぎた場合は受け付けませんので、ご注意ください。

●問合先 市土地改良課
(☎23)2111内線362

4月は土地月間です

一定面積以上の土地について売買などの取引をする場合には事前に届け出が必要です。

市内では、次のような土地取引が届け出の対象となります。

- (1)都市計画区域内
5000平方メートル以上の面積
- (2)都市計画区域外
10000平方メートル以上の面積

●問合先 県企画局土地対策課
(☎0952)7034
または、市役所企画課

(☎23)2111内線403

重度心身障害者へ タクシー利用券交付

●対象者 1月1日現在市内に居住する障害者で、自動車税等減免を受けていない在宅の人（入院、施設入所は除く）

で次のいずれかに該当する人
○下肢、体幹、視覚の障害で身体障害者手帳の1級または2級の認定を受けた人

○療育手帳Aの判定を受けた人

●申請期間 4月15日～5月31日

●必要なもの 身体障害者手帳、療育手帳、印鑑

●利用券 1枚400円の市内タクシー利用券を年間最高25枚まで交付します

●申込先 市福祉事務所福祉係
(☎23)2111内線262

ストマ用器具使用者 助成申請受付

●対象者 人工肛門、人工ぼうこう手術を受けた人で次に該当する人

○1月1日現在で市内に住所を有し、現在も市民である人

○生活保護を受けていない人

○直腸、ぼうこう等で障害者手帳の交付をうけていない人

●助成額 月額1000円

●申請期間 新規申請は随時、再申請は4月28日まで

●必要なもの 再申請は印鑑と預金口座番号。新規はこのほかに医師の証明書と住民票

●問合先 市福祉事務所福祉係
(☎23)2111内線262

アルミ缶回収に ご協力ください

今年度は次の日程で行います

●缶の回収月日 4月20日、6月20日、8月22日、10月20日、12月20日、平成7年2月20日

●回収時間 いずれの日も午前9時開始となりますが、回収順番があとになるところは時間はずれ込みます。

●搬入場所 市の各町公民館（保管庫あり）、市農協各支所、南波多農協、大川町農協

●問合先 市民相談室
(☎23)2111内線226

内容を充実しました 中小企業振興資金

市では、市内中小企業の運営及び設備に必要な資金の融資を円滑にして、企業の振興を図る制度融資を行っています。

景気の後退期間が長期化しており、市内中小企業を取り巻く環境が厳しさを増していることから、今回緊急景気対策支援として運転資金について新たに特例分を設け、運転資金の限度額を引き上げて制度内容の充実を図っています。

- 貸付限度額 600万円
- 設備資金 500万円
- 運転資金（一般分）1000万円
- 運転資金（特例分）1000万円
- 貸付利率 4.3%
- 貸付期間 5年以内
- 貸付利率 4.3%
- 貸付期間 5年以内

※運転資金の特例分については7年以内となっています。

●問合先 市商工観光課
(☎23)2111内線353

伊万里保健所の 乳幼児健康相談

伊万里保健所が、毎月4回（第1、2、3、4金曜日）実施していましたが、4月1日から毎月2回（第2、4金曜日）に変更となります。お間違えのないように受診してください。

●対象児 市で行われている乳幼児相談や保健婦などから紹介された乳幼児

●相談内容 身体計測、診察、育児相談、栄養相談

●問合先 伊万里保健所保健婦係
(☎23)2101

ボケ予防システム づくり報告会

平成2年度から黒川町で推進しています「健やかな老いをめざす黒川町、ボケを予防するシステムづくり事業」の報告会を開きます。

●日時 4月23日（土）午後2時～4時

●会場 市民センター

●内容 第1部 報告と講演「ボケないための健康づくり」

第2部 ひとり芝居「信長」

●入場料 無料

●問合先 社会福祉法人伊万里敬愛会
(☎27)2101

労働保険の平成5年度の確定保険料と平成6年度の概算保険料の申告、納付手続きは5月16日が期限です。事業主の方は、早めにご手続きを済ませてください。

室くじ普及広報事業で 宮太鼓などの楽器購入

伊万里子ども太鼓の会は、平成5年度自治室くじ助成金二百五十万円の助成を受け、宮太鼓和太鼓や平太鼓などの楽器を購入し、伊万里公民館まつりをはじめ、市内での各種アトラクションなどに出演し、すばらしい演奏を披露しています。

今後も各種大会に参加して演奏技術の向上に努めるとともに、子どもたちの間で伝承させていく新しい文化として根づかせたいと張り切っています。

女性就業講習会

県女性就業援助センターでは、女性が有利な条件で就業できるように技術講習会を開きます。

● 講習科目・期間
● ご参加ください。

4月の市民センター行事

市民会館

- 3日(日) 14時 無料
伊万里市吹奏楽祭
- 5月8日(日) 18時 子ども劇場会員
ミュージカル「UBU BOMI」

市民センター

- 3日(日) 10時 無料
さくら茶会 古川宗華淡友会
- 10日(日) 14時 無料
日本CATV歌謡大賞第一次予選
- 11日(月) 19時 2,500円
ソル・アモールライブコンサート
- 15~17日 10時 無料
野口榮一 春の美術個展
- 17日(日) 10時 無料
ピアノリトルコンサート
- 22日(金) 19時 無料
キザクラ講演会
- 23日(土) 13時 無料
「ボケ予防システム」事業報告会
- 5月3日(火) 10時半
アニメ映画「スラムダンク・ドラゴンボール・Dr. スランプ」
3日、4日とも 大人1800円・高校1500円・中学1300円・小学1000円・幼児900円
- 5月4日(水) 10時半
ドラえもん・ウメ星デンカほか

4月の市民相談

会場：市民相談室10時~15時

無料・秘密厳守

- 法律 7. 21(木)
- 社会保険 1. 8. 15. 22(金)
- 交通事故 12. 26(火)
- 行政 20(水)
- 人権 5. 19(火)
- 身障者 25(月)
- 青少年 28(木)
- 消費生活 4. 11. 18. 25(月)
- 女性就業 6. 13. 20. 27(水)
- 心配ごと 7. 14. 21. 28(木)

※住宅相談は、7日と21日(木)の午後1時から4時まで市役所市民ロビーで行います。

○ 経理事務とワープロ
4月25日~6月7日
10時~16時

(ワープロは基本操作のみ)

- 会場 市民センター
- 定員 30人
- 申込期限 4月20日(水)
- 申込・問合せ 市民相談室
(☎232111内線226)

ぼしゅつ

「クリーン伊万里市民協議会」団体・法人会員

社会奉仕団体等(11団体)が自然と人が共存共栄できる美しい豊かな環境を守ることを目的に結集し「クリーン伊万里市民協議会」を設立しました。協議会では一緒に活動する団体や法人会員を募集しています。ご加入ください。

- 年会費 1万円
- 問合せ 伊万里ライオンズクラブ(☎234753)

「九州青年の船」団員

平成6年度は、佐賀県知事が団長で、唐津港から出航します。

- 団員募集説明会
4月6日(水) 午後6時半から伊万里公民館で行います
- 応募資格 県内在住で満20歳以上30歳未満の男女43人
- 参加費 7万3千円(旅券費用や事前研修費用を除く)
- 応募期限 5月13日(金)
- 九州青年の船の概要
- 訪問先 中華人民共和国(北京、天津)、大韓民国(ソウル)
- 日程 8月28日~9月8日
- 活動 船内活動、訪問地活動
- 問合せ 市社会教育課
(☎232111内線453)

市美術展作品

今回で15回目を迎える伊万里市美術展では市民の皆さんの力作を募集します。ふるってご応募ください。

募集先 市民センター

- 美術展会場 市民センター
- 日時 5月25~29日
9時~16時半

(最終日は16時まで)

- 出品規定 市内の在住者及び在勤者(小中学生を除く)で自作未発表の作品
- 出品部門 日本画、洋画、デザイン、彫塑、書、写真、工芸
- 作品受付 5月22日(日)の午後1時から4時まで市民センターで受け付けます
- 賞 出品者全員に記念品
- 問合せ 市教育委員会内市美術展実行委員会事務局
(☎232111内線463)

「伊万里の夏・どっちゃん祭り」キャラクター

「伊万里の夏・どっちゃん祭り」のキャラクターを募集します。作風は自由で、優秀作には、すてきな焼き物などの賞品があります。また、最優秀作品は、ポスターやチラシ、Tシャツなどに利用する予定です。

なお、著作権は、どっちゃん祭り実行委員会に帰属します。

- 応募方法 官製はがきに作品を描いて、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ郵送してください
- 応募期限 4月22日(金)
- 応募・問合せ 〒848 伊万里市立花台1-1-1 市商工観光課内
「伊万里の夏・どっちゃん祭り」キャラクター募集係
(☎232111内線353)



伊万里病はますます重くなるばかりです

日本料理 膳所伊万里倶楽部 佐々木隆 吉さん (45)

(千葉県中央区富士見1-10-5)

世界伊万里会議にお誘いいただき、心より光栄に思い伊万里市民の皆様にご感謝いたします。

東北の仙台生まれの私ですが、店名に「伊万里」の名前をお借りして16年になります。二十歳の時に古美術商で出合った初期伊万里の蕎麦猪口に魅了され25年、収集の病は重くなるばかりです。釣り愛好家の方は「籠」に始まり、籠に終わる」とうかがいます。陶磁器愛好家は「染め付けに始まり、染め付

故郷・伊万里から遠く離れた都会などで仕事に頑張っている伊万里市出身者がおられます。また、「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店も数多くあります。このコーナーでは、「伊万里」と縁が深いみなさんからの便りをご紹介します。

「けに終わる」といわれています。

日本の染め付けの代表は、伊万里焼でございます。朴訥として、やさしさを感じ

る初期伊万里、寸分の隙のない格調ある献上伊万里、豪華絢爛な色絵の伊万里、慶長から最盛期の享保、宝暦、明和と続き、現在に至るまで多くの人々に愛された伊万里焼は、日本の心と感じています。伊万里の三文字の音に三百年の歴史とその時代の職人たちの技と魂を思い、心地よい響きが伝わってまいります。

日本料理店を営むうえで、素材吟味に準ずる大事なことは器の選定でございます。季節を考慮し、料理内容を加味し収集した伊万里焼を使わさせていただきます。向付は赤絵が良いか、著洗は白磁にしようか、盃は、徳利は、とお客様の好みに合わせて選定する楽しみをいただいています。香炉、花入れ等も取り合わせを考え、小さい店なりに大事にしています。



「手作りの日本酒を取り寄せおもてなしをしています」と奥様の由美子さん。

伊万里病は膏肓とし、自宅の中にも侵略して食器棚から玄関、トイレ等すべての部屋が征服されています。お客様の目を楽しませ、心に潤いを感じていただければと大事に使わせていただいています。真心込めた手作りの日本酒を六十数歳より取り寄せ、天然の素材を大切に毎日体力の許す限り料理に取り組んでいます。店主兼料理人である故に無理が利くことと思

います。伊万里の店名から焼き物愛好者や伊万里出身の方々にも利用していただき、今後もお客様に喜んでいただける店にと努力してまいります。

世界伊万里会議会員の名に恥じぬように襟を正し、伊万里の広報にも努めてまいります。

伊万里市の発展と世界伊万里会議の成功をお祈りいたします。

今月の表紙

筒形の胴部の上に短い頸部がつく壺です。胴部には、明るい藍色に発色した呉須で家屋四軒を描いています。周囲には重なる山嶺や険しい岩肌の岩山を、巧みで流麗な曲線のタッチで描いています。明るい藍色の呉須の濃淡を使い分け、器壁の白色を効果的に生かした構図や筆致など、寛文・延宝期の特徴をよく表している貴重な遺品です。

編集室から

東陵中の卒業式を取材しての帰り道、校門をくぐって通学路を下る途中、眼下を流れる松浦川にふと目をやると、兩岸が黄色い花で埋め尽くされていました。近づいてみると、それは、菜の花でした。春の柔らかな日差しを受けて流れる水面に、逆さになった眉山と菜の花の黄色が映って見事でした。卒業生の「仰げば尊し」を久しぶりに聞いて、ちよっぴり感傷的になつていたのかもしれないが、思いがけないところで春の到来をみつけ、胸が熱くなりました。みなさんも思い切つて戸外にでかけ、春を探してみませんか。(H)

人のうごき

平成6年3月1日現在

●人口	60,128人	(+29)
男	28,452人	(+22)
女	31,676人	(+7)
●世帯	17,844人	(+21)
	()	は前月比

広報 伊万里 1994-4

■発行日/平成6年4月1日
 ■発行編集/伊万里市役所秘書課広報係
 ☎(0955) 23-2111
 〒848 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
 ■印刷/株式会社 三光